

Title	最適医療保険制度に関する理論的考察-効率性の視点から-
Sub Title	
Author	遠藤久夫(Endou, Hisao) 藤枝省人
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1983
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1983年度経営学 第256号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001983-0256

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 遠藤久夫

主査 藤枝省人

副査 太田康信

所属ゼミナール 田中 滋 研

田中 滋

最適医療保険制度に関する理論的考察 — 効率性の視点から —

わが国の医療制度に関しては以前より種々の問題点が指摘されている。これらの問題のうち、とりわけ医療保険に対する公費支出の累増対策は急を要する課題といわれている。とはいえ、医療保険制度の変更はわが国の医療制度の根幹にかかわる問題であり、単に財政の改善という局所的かつ短期的な観点だけで議論するのは好ましい態度ではない。本稿は医療問題の経済的側面の中で最も重要なファクターと考えられる、医療保険制度に分析のメスを入れたものである。保険制度は効率性と公平性の二つの機能を要求されるが、両機能は本質的には二者択一の関係にある。わが国の医療保険は社会保険として位置づけられてきたため効率性より公平性が偏重されてきた。そこで、本稿では効率性という観点から評価した場合、現行の医療保険制度はいかなる問題を含んでいるのかについて考察を加えている。

分析アプローチは二つに大別される。論文前半では医療市場の特性を分析し、一般の財貨市場との違いを明らかにした後、このような特殊な市場における保険制度と効率性の関係をシミュレーション分析によって解明している。一方後半では、被保険者の諸属性に差がある場合や、医療保険の対象となる保険事故の特性に差がある場合、どのような保険を適用するのが効率的であるかをめぐって分析を展開している。さらに、その結果をもとに現行の制度の評価を試みた。以上の様に、本研究は保険機能を喪失しがちな医療保険を保険原理という視点から見詰め直し、医療保険効率化のための理論的フレームワークを提供するものである。